	対 策 計 画 書								
届出者	住所	大阪府大阪市北区茶屋町18	-14		.l Ft 名	株式会社 池田泉州銀行			
лыны	132/21					代表取締役 鵜 川 淳			
特定事業	者の主た	る業種	62銀行業						
該当する特定事業者の要件			レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者					
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者					
			ン	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又は口に該当する者					
事業の概要			銀行	業全般					

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

◎ 血主从木// // // // // // // // // // // // //						
(1)計画期間						
2019 年 4 月 1	目~	2022	年	3 月	31	日(3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量					5, 351	t -CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準	化補正後)				6, 062	t -CO ₂
(3)温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排	出量)				5, 191	t -CO ₂
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排	出量(平準化	補正後))			5, 881	t -CO ₂
	選択	レ 目標削減	率(排出量	ベース)		3.0 %
	迭扒	目標削減	率(原単位	ベース)		%
	目標削減率	(平準化補正ベー	ス)			3.0 %

目標削減率に関する考え方

エネルギーの使用の合理化等に関する法律(工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断基準における消費原単位の低減目標)および大阪府温暖化対策指針の削減目標を踏まえ、3年間で3%削減を目標として、総排出量の削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化	炭素の吸収量		
<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
目標年度における吸収量	t -CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 () (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1)推進体制

倫理綱領において定めた環境に配慮した企業活動を遂行するため、全店舗、全事業所を対象とした省エネルギー推進活動計画を策定 し、エネルギー管理統括者の指揮のもと、全従業員参加型の環境エネルギーマネジメント活動を進めていきます。

	対 策 計 画 書								
届出者	住所	大阪府八尾市沼1-41			氏名	社会医療法人医真会			
特定事業	 と		83医療業		<u> </u>	理事長 松村 吉庸			
NATA	<u> </u>	・ジ末性	0.5区原来	:					
			レ	大阪府温暖化の防	i止等に関	引する条例施行規則第3条第1号に該当する者			
該当する特定事業者の要件				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者					
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又は口に該当する者					
事業の概要			一般病院法人本部		所 2 施設	t、介護老人保健施設 1 施設、訪問看護事業所 1 施設、			

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

◎ 価主効木がへの折山の抑制に関する自信			
(1)計画期間			
2019 年 4 月 1	日~ 2022 年	3 月 :	31 日(3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3	8,631 t-CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準	化補正後)	3	3,913 t-CO ₂
(3)温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排	出量)	3	3,523 t-CO ₂
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排	出量(平準化補正後))	3	8,796 t-CO ₂
	選択 目標削減率(排出量	(ベース)	%
	歩が レ 目標削減率(原単位	[ベース)	3.0 %
	日搏削減索 (亚準化端正ベース)		2 0 0/

目標削減率に関する考え方

本計画書では、床面積を母数に排出原単位を設定し、目標年度である2021年度時点で、大阪府内に於いて温室効果ガス3%(原単位ベース)削減する目標を掲げるとともに、総排出量についても削減に努めていきます。

植林、緑化、森の保全による二酸化	- 炭素の吸収量		
日本ののこれを言るで	パホッグ・K主		
目標年度における吸収量	t - CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (延床面積) (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1)推進体制

経年劣化等により、エネルギー効率の悪くなっている設備の更新を可能な限り検討し、施設の新規開設や建替えを計画する場合は、空調設備等に於いて可能な限りガスをエネルギー源とする設備を検討する。

				対策計画	画書					
届出者 住所 大阪府阪南市箱作100-1				氏名	和泉チェン株式会社					
特定事業	 ¢者の主た		24金属製	見品製造業	<u> </u>	代表取締役 東野 和之				
該当する特定事業者の要件			V	レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者						
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者						
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又は口に該当する者						
事業の概要				が装置製造業 I用チェーン及び一	-般伝動用]チェーン製造)				

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

② 価主効木がハッが山ったが山に関する自伝								
(1)計画期間								
2019 年 4 月 1	日~		2022	年	3	月	31	日(3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量							3, 868	t -CO ₂
基準年度における温室効果ガス総排出量(平準	化補正後)						4, 127	t -CO ₂
(3)温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排	出量)						4, 470	t -CO ₂
温室効果ガスの削減目標(目標年度の対策後排出量(平準化補正後))							4, 770	t -CO ₂
目標削減率(排出量 選択								%
	迭扒	レ	目標削減	率(原単位	(ベース)			3.0 %
	目標削減	率(平準化	補正ベー	-ス)				3.0 %

目標削減率に関する考え方

温室効果ガス排出量は出来高の増減により大きな影響を受ける。したがって弊社では原単位の削減に努めることにより温室効果ガス排 出量の削減に努める。

植林、緑化、森の保全による二酸化	炭素の吸収量		
目標年度における吸収量	t -CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (出来高 (温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

算出式:原単位(t-C02/百万円)=温室効果ガス総排出量(t-C02)÷出来高(百万円)

- ◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策
 - (1)推進体制
- ・省エネルギー委員会を中心とした省エネ活動によりCO2排出量の削減を図る。 ・省エネ機器への更新により電力需要の平準化に取り組む。